



2630 Nakatsugawa Center Rotary Club

築こう更なる友情

サブテーマ : 深めよう信頼と絆

広げよう友情の輪

2011～2012年度 RIテーマ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2012年1月30日 No.1682

本日のプログラム

1. 開会点鐘
2. Rソング斉唱
3. ゲストビジター紹介
4. 会長の時間
5. 会員慶事
6. 食事と交歓
7. 出席率・スマイルボックスの発表
8. 委員会・幹事報告
9. 卓話・職業奉仕委員会
10. 閉会点鐘

今後のプログラム

- 2/6 国際奉仕委員会卓話
 2/14 社会奉仕委員会卓話
 2/20 創立記念例会
 2/26 卓話

前回の出席率

1/23 82.61%(38/46)
 会員総数 46名
 出席免除者 2名
 1/16 補正 91.30% (41/46)

連続皆出席表

可児豊司君・・・36年
 小木曾孝司君・・・36年

会場設営

- 1 月度: 役員・会計
 2 月度: 親睦活動

会長の時間

少子高齢化時代とまちづくり

昨日の中津川市長選挙の結果、新しい市長に青山節児氏が当選されました。ドイツのヴィスマルクという政治家の言葉に「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」と言ったそうありますが、市長選挙の結果を真摯に受け止め今後のまちづくりを考えていきたいと思えます。



さて、まちづくりと人口問題は密接な関係がありますが、日本の人口は平成 20年(2009年)12月の段階で1億2751万人とされていますが、平成21年(2010年)から減少傾向にあるとされています。2050年頃には1億人前後となり22世紀当初には3500万人ぐらいと推測する資料もあります。

人口減少は出生率の低下が最も大きな原因で、戦後の第一次ベビーブームの時は4.5以上・昭和25年(1950年)頃から3.0を切り昭和50年(1975年)頃から2.0を切っています。安定的・長期的に国が人口維持出来る出生率は2.08ぐらいだそうですが、平成20年(2008年)の数字は1.37とされています。

問題は、低い出生率が続けば人口は減少するのでありますが、当然、生産人口も減少するとともに、高齢化率が高くなります。

内閣府の平成21年版高齢社会白書では平成20年(2009年)の高齢化率は22.1%で前年より0.6%上昇し3年後の平成25年には25.2%となり4人に一人が高齢者、24年後の平成47年(2036年)には33.7%となり3人に一人が高齢者、更に45年後は40%を越えるのではないかとされています。尚、高齢化率が過去最低だったのは昭和10年の4.7%だそうです。

更にその先で問題となるのは、最近「限界集落」という言葉を聞きますが、ご存知のように限界集落とは高齢化率が50%を越えた地域であります。資料によりますと「日本の地域社会の中では中山間地や離島を中心に過疎化・高齢化の進行で限界集落が急速に増えている。このような状態となった集落では、集落の自治・生活道路の管理・冠婚葬祭などの共同体としての機能が急速に衰え、やがて消滅に向かうとされている」としています。

2007年に国土交通省と総務省が共同で調査した「国土形成計画策定のための集落の状況に関する現況把握調査」によりますと、全国の過疎地域は6万2273集落あり、その集落の人口は全人口の1割近くの1128万人とされています。その内、高齢者の割合が50%を越えている集落が7878あり、住民全員が65歳以上の集落が431あるそうです。また、10年以内に消滅すると思われる集落が423、いずれ消滅すると思われる集落が2219あると報告されています。

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

【発行責任者】

会長 鷹見憲三
 幹事 堀正勝
 会報 吉村浩平
 (原稿送付先:
 yoshimura@systemy
 o.co.jp)

例会場: 中津川商工会議所

例会日: 月曜日 12:30 ~ 13:30

事務局: 中津川商工会議所 3階

TEL: 0573-66-7301 (事務局)

携帯: 090-1283-8618 (堀幹事)

E-mail: info@2630ncrotary.org

URL: <http://www.2630ncrotary.org>

少子高齢化時代をむかえた現在、国・県・地方自治体にとって将来の国づくり・まちづくり計画に様々な問題を投げかけ、国も県も市町村も若者定住・少子化対策にやっきになって取り組んでいると思います。

中津川市の高齢化率であります、最も高いのは神坂地区の 38.5%、山口地区の 37.0%で、低いのは坂本地区の 21.4%となり全体では 27.0%と日本の平均高齢化率より 5 ポイント高い状況にあります。更に細かく分析し、中津地区をみてみますと中心市街地のなかのある区は 40%以上またはそれに近い地域が存在しています。

中津川市地区別人口と高齢化率

(平成 23 年 4 月 1 日現在)

地区	人口	人口 (65 歳以上)	高齢化率 (%)
中津東	8678	2222	25.6
中津西	12286	3049	24.8
中津南	7293	2035	27.9
苗木	6408	1670	26.1
坂本	12992	2781	21.4
落合	4175	1103	26.4
阿木	2580	881	34.1
神坂	857	330	38.5
坂下	5113	1629	31.9
川上	519	266	29.1
加子母	3262	1066	32.7
付知	6374	1879	29.5
福岡	7226	1883	26.1
蛭川	3609	1064	29.5
山口	1615	597	37.0
合計	83383	22455	27.0

一方低い地域は 18 区(上金)の 17%・松田区 18%となっている地区も見受けられます。これは中心市街地のドーナツ化現象と呼ばれ、まちづくりにとって重要な課題であります。

今後のまちづくり計画は、地域高齢化率を参考にしながら若者が「住みたいまち、住みたくなるまち」を目指しまちづくりを進めなければならないと考えます。

例会フォト



講師の志津部長



お土産贈呈



棚橋さん講師紹介



板頭さん訪台報告



SmileBox

- ・本日卓話の中津川市生活環境部長・志津様、宜しくお願ひ致します。
会長 鷹見憲三
副会長 伊藤博行
幹事 堀 正勝
- ・新年例会に多くのメンバーの参加有難うございました。ピンゴゲームのカードをメンバーの方に快く買って頂きましたお金をスマイルします。
親睦活動委員会
- ・家族例会にて夫婦で写真を撮って頂き有難うございました。
堀 務
- ・1,000 円のピンゴカードが肉になりました。
安藤 茂
- ・結婚記念のお祝いをして頂き有難うございます。
宮田義和
- ・結婚記念日の御祝い有難うございました。耐え難きを耐え、忍び難きを忍び我慢しました。
小倉忠雄
- ・長かった市政の紛糾も今回の結果を厳粛に受け止め、明るい中津川にしていきたいものです。明るい話題としていよいよぎふ清流国体が始まります。27 日には恵那市で冬季大会開会式が行われ、本大会が日 1 日と迫ってきています。本大会に向けて会員各位のご協力をお願いします。
丸山充信
- ・3 月 21 日に挙行される新莊扶輪社 35 周年式典参加者の募集を始めますので多くの会員の訪台を求めます。詳細は後日ご案内させていただきます。
丸山充信